

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	「第 4 世代ナトリウム冷却高速炉の安全設計ガイドライン」研究専門委員会第 7 回会合
開催日時	平成 28 年 1 月 12 日(火) 13:30 ~ 17:00
開催場所	日本原子力発電株式会社本店 2 階 第 2、3 会議室
参加人数	委員 21 名（山口主査、守田幹事、島川幹事、山野幹事、齊藤委員、越塚委員、坂場委員、糸岡委員、遠藤委員、植田委員、大本委員、後藤委員、小竹委員、与能本委員、中井委員、上出委員、高田委員、久保委員、岡野委員、戸田委員、神島委員）、常時参加者 4 名
議 事	<p>1. SDG/SDG 概況          岡野委員から SDG についての国際レビューの概要、安全アプローチ SDG については骨子が合意されたこと及び今後の予定、系統別 SDG については重点検討 14 項目のうち 4 項目を先行して検討を実施していることがそれぞれ報告された。また、SDG/SDG に関連した国際的な会合として、8カ国の規制機関が参加する OECD/NEA GSAR 会合について紹介があり、議論がなされた。</p> <p>2. 系統別 SDG の検討状況          久保委員より系統別 SDG へ書き込む内容についての説明の前段として、系統別 SDG の作成方針や位置づけなどの全般的な説明があった。具体的には、IAEA の NS-G シリーズを参考としていることや、ポイントとなる 14 項目に絞って検討していること、SDC、安全アプローチ SDG との関係などの説明があり、議論がなされた。          岡野委員から、前回委員会にて 14 項目を提示した資料の「系統別 SDG の検討状況(検討のポイント)」に対するコメント及び対応について説明があり、議論がなされた。          谷氏、佐藤氏及び日暮氏から、系統別 SDG のうち、炉心系、冷却材系及び格納系の検討のポイントとして抽出した項目についてそれぞれ説明があり、議論がなされた。</p> <p>3. 国内外の安全基準の動向          久保委員から、系統別 SDG について、14 項目に対応する各国の設計概念の紹介や留意点の説明があり、議論がなされた。</p> <p>4. 報告書ドラフトの確認          山野幹事から本委員会の報告書(中間報告)のドラフトに対するコメント及びその対応について紹介があった。また、本報告書が原子力学会のホームページにて公開されたこと及び図の転載許諾に時間を要したことを報告した。</p> <p>5. その他          山野幹事から、今回の議論を基に資料の改訂し、2月の GIF の SDG-TF で議論を行い、GIF からのフィードバックを基に次回の委員会を実施する説明がなされた。次回委員会は系統別 SDG の素案を提示する。開催は夏頃を予定し、詳細については後日調整となった。</p>
備 考	

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	「第 4 世代ナトリウム冷却高速炉の安全設計ガイドライン」研究専門委員会第 6 回会合
開催日時	平成 27 年 8 月 20 日(木) 13:30 ~ 17:00
開催場所	日本原子力発電株式会社本店 2 階 第 2、3 会議室
参加人数	委員 23 名（山口主査、守田幹事、島川幹事、山野幹事、可児委員、齊藤委員、岡本委員、越塚委員、坂場委員、糸岡委員、浅野委員、遠藤委員、植田委員、西委員、大本委員、小竹委員、与能本委員、中井委員、高田委員、久保委員、岡野委員、戸田委員、神島委員）、常時参加者 7 名
議 事	<p>1. SDC/SDG 概況</p> <p>岡野委員より、SDC の国際レビューの状況、安全アプローチ SDG 及び系統別 SDG についての概況についての説明や、6 月に実施された GIF-IAEA の高速炉安全性ワークショップにおける各国の設計状況など SDC/SDG 関連の状況報告があり、議論がなされた。</p> <p>2. 安全アプローチ SDG (報告)</p> <p>久保委員より、2015 年 6 月の GIF-SDC-TF にて合意に至った安全アプローチ SDG について、2015 年 3 月に各国から出されたコメントに対する反映による改訂状況の説明があり、議論がなされた。主な論点として残余のリスクや設計拡張状態、実質的に回避されるべき事故状態などを中心に議論がなされた。</p> <p>3. 系統別 SDG の検討状況</p> <p>久保委員より、系統別 SDG の検討状況として、今後、国際的に議論するに当たり、内容が多岐にわたることから、第 4 世代ナトリウム冷却高速炉に特徴的な点に絞った検討方針とすることが説明された。また、それぞれの項目について説明があり、議論がなされた。</p> <p>4. 国内外の安全基準の動向</p> <p>岡野委員より、米国における新型炉用 Design Criteria 策定について、その背景や位置付け、策定経過状況などについて紹介があった。</p> <p>5. 報告書ドラフトの確認</p> <p>山野幹事より、本委員会の報告書(中間報告)のドラフトについて紹介があり、今後のスケジュールの確認がなされた。9 月 11 日を期限とし、各委員からコメントを募集することとした。</p> <p>6. その他</p> <p>本委員会について、平成 29 年 9 月 30 日までの 2 年間延長する。 次回委員会は 2017 年 1 月 12 日開催にて調整。詳細は別途連絡。</p>
備 考	